

慎しみて怠ることなかれ

この学部でしか学べないことがある

神道文化学部

イラスト・吉山真未(神道文化学部)



西岡 和彦

神道文化学部長

神道文化学部をめざす皆さんへ

神道文化学部をめざす皆さんへ、本学部の内容についてご説明いたします。本学部は、平成14年(2002)4月に文学部から独立し、今年度で19年目を迎えます。学部としては若いほうですが、國學院大學の前身が皇典講究所であり、さらにその前身が神道事務局とその生徒寮であることから、まさしく本学の根幹を継承する学部といえましょう。

本学部は、1学部1学科(神道文化学科)2コース(神道文化コース、宗教文化コース)からなります。コースはあくまで目安であり、入学後は学生が主体的に受講科目を選択することになります。したがって、神職資格の取得をめざす方は、どのコースからでも取得することができます。

神道文化コースは、神道文化を専門的に学び研究するコースで、宗教文化コースは、宗教文化を専門的に学び研究するコースですが、本学部の学生は皆さんいっしょに神道学と宗教学の全般を学ぶことになっています。

本学は昼夜開講制を実施しています。そのため1時限から7時限までの時間帯にある科目を受講することができます。本学部には、唯一フレックスA(夜間主)とフレックスB(昼間主)があります。そのため、2年生まではフレックスAの学生は、6・7時限にある特定の科目を受講しなければならない、というしほりがあります。また、フレックスBの学生は、1～4時限にある特定の科目を受講しなければならない、というしほりがあります。なお、5時限は共通時間帯で、特定科目といえども、フレックスAとフレックスBの学生がともに受講できるようになっています。そうした点を除けば、学生は1～7時限の科目を自由に選択することができます。

なお、勤労学生のためにフレックスA奨学金制度があります。これは、平日は5～7時限、土曜日は1～7時限の時間帯しか受講科目の単位取得を認めない制度ですが、その分、授業料の減免に見合った奨学金が出されます。ただし、成績不良の場合、たとえ勤労学生といえども3年生以降打ち切られることがありますので、ご注意ください。

カリキュラムの特長は、1年生から少人数教育を実施し、学生と学生、学生と教員とのそれぞれの距離感を無くすように心がけているところです。1年生は前期に神道文化基礎演習で、大学生としての基礎学力を身につけます。2年生は後期に神道文化演習で、3・4年生で行う基幹演習に備えます。基幹演習は神道学、神道史、宗教学の3つの分野からなり、そのなかから指導教員を1名選択します。3年生は中間レポートを作成し、4年生は卒業レポートを作成します。演習では、各自で調査研究した成果を、レジュメを作成して口頭発表し、受講生や指導教員から意見や指導を受けます。

神職資格に必要な祭服や衣紋、そして雅楽の授業も充実しています。女子学生の増加にともない、祭服の女性教員や女性補助員も配置していますので、ご安心ください。

こうした4年間のカリキュラムを通じて、より研究を深めたい方は、大学院へ進学します。皆さんのなかから、研究者や教育者をめざす方がひとりでも多く出ることを希望します。

卒業後の進路は、多くの学生が神社界への奉職を希望しています。最近では首都圏の神社を希望する学生が増加し、地方の有名大社を希望する学生が減少しています。伊勢神宮や出雲大社をはじめ地方の有名な大社には、母校の先輩方(院友神職)が多くご奉仕なさっています。そうした大社に奉職できるよう志を高く持って、頑張ってください。

また、一般企業や公務員へ就職する学生も増加してきました。男女ともいろいろな方面へ就職しています。なお、卒業後の進路は、4年生になってから決めるものではなく、入学したら早い段階で進路を決め、その準備を行うことも学生生活のひとつです。

以上、纏々説明しましたが、入学後不安が生じたら、遠慮することなく教職員や先輩に相談してください。教員にはそうした時間(オフィスアワー)を設けていますし、若木タワー17階には、修学相談室がありますので、気軽にたずねてください。

コロナ禍の終熄が待ち遠しくなりましたが、決して焦ることなく、まずは何よりも健康に留意して、楽しい学生生活を送られるようしっかりと準備しておいてください。



平藤 喜久子 教授

(令和三年度着任)



本年4月から、神道文化学部に教員として着任させていただくことになりました。わたしは「神話」をいろいろな角度から研究する「神話学」を専門としています。「神話」と聞くと、「古い話だから難しそうだなあ」とか「ありえない話ばかり」といったイメージを持たれているかもしれません。神話はたしかに古い話ばかり。でもそれは人間がなによりも必要とした物語だったからこそでしょう。神話を知ることは、人間を知ること、ということができるかもしれません。



日本では8世紀に『古事記』や『日本書紀』という文献のなかに神話が伝えられました。神々の奇想天外な「ありえない話」が多くありますが、そのなかにも共感できる部分を発見することもあります。また、なぜこんな話なのだろうか、と考えることは、古代の日本人や人間そのものについて知ることに繋がります。他の地域の神話と似た話があれば、文化の交流の可能性や人間の心を考える手がかりにもなります。



このような「神話学」という学問を専門にしている研究者は残念ながらあまり多くはありません。國學院大學神道文化学部は数少ない神話学を学ぶ場といえます。このたび新たに神道文化学部の教員となり、神話学の立場から皆さんと一緒に神話を読み解き、新たな解釈の可能性を考えていけることになり、とてもうれしく思っています。



これまで「神話なんて一度も読んだことがない」、「古文が苦手」、という方もご心配なく。神話には「こう読まなければいけない」ということはあまりありません。若い皆さんのフレッシュな感性で、神話をしっかりと見つめ直しながら一緒に学んで行きましょう！

神話を学ぼう！



國學院大學の奨学金制度

1年次は 全員支給	神道・宗教 特別選考新入生対象	返済不要	神職子女奨学金 ……[1年次生] 自宅外通学者40万円/自宅通学者20万円支給(全員) ……[2年次以上] 自宅外・自宅通学者ともに10万円支給(学業成績の上位20名以内)
夜間主学生対象	返済不要	國學院大學フレックス特別給付奨学金 ……400,000円	
神社界からの奨学金	神社本庁育英奨学金 ……30万円支給(2年生以上) 返済不要 ※条件あり 伏見稲荷大社奨学金 ……24万円支給 返済不要 ※条件あり 全国敬神婦人連合会育英奨学金 ……15万円支給(女子学生のみ、2年生以上) 返済不要 ※募集されない場合があります		

詳しくは本学ホームページ「入試情報に関するお知らせ」でご案内します。 <http://www.kokugakuin.ac.jp/admission/nyugaku0300166.html>



今橋 晶子さん
神道文化学部 4年



私は地方神社の社家の出身です。神職資格取得を目指して、神道文化学部に入學しました。

学部では、資格課程の履修はもちろん、課外活動で自分の能力を高めることができました。私は雅楽サークル・青葉雅楽会で、笙の技術を習得しました。まったくの未経験者でしたが、数多くの方々のサポートをいただきました。おかげさまで、3年次にはソロで奏楽奉仕ができるまでの技量に達することができたのです。



本学ならではの大学行事・観月祭に参加できたことも、忘れがたい思い出です。観月祭では、奏楽だけでなく、広報用ポスターの作成も担当しました。思えば、この学部でなければ得られない貴重な経験を、心ゆくまで満喫することができたと思います。

痛恨事は、4年次に直面したコロナ禍です。自粛生活で、淋しく籠る日々…。学友と会うことも叶わず、サークルの仲間たちと楽を奏することもできなくなりました。淋しさに心を痛める日々が続きました。

そんな時、何よりの力になったのは、コロナ禍前、学友たちと共に、学業や学部行事で切磋琢磨した日々の記憶でした。全力投球した過去の思い出を顧みることが、困難を乗り越え「前向きに生きることの大切さ」を、私に気付かせてくれたのです。



そんなコロナ禍も含め、大学時代の4年間、実にさまざまな経験を積むことが出来ました。卒業後は、学生時代に磨き上げた自分なりの武器を、ご奉仕する神社や地域社会の中で、しっかりと活かしていきたいものと願っています。

志願者の皆さん、神道文化学部は、かけがえのない学びと経験の場です。入学したら、学部ならではのさまざまなチャレンジに、ぜひ進んでトライしましょう。

楽しかったことも、つらかったことも、そのすべてが、自分の糧となりました。



宮川 周子さん
神道文化学部 4年



小さい頃から、神社を身近に感じて育ちました。「自分も神職を目指そう…」そう思って、神道文化学部を志願しました。

高校まで、実家が社家という人に出会ったことはありませんでした。ところがこの学部には、同じ境遇で育った人たちがたくさん在籍しています。共通の悩みについて、将来について、さまざまな思いを分かち合うことができました。

「自分は決してひとりではない、仲間が全国にいる…」そんな思いに、いつも励まされてきました。もちろん学部生は、社家出身者ばかりではありません。神社について、神道の歴史について、マニアックな研究心を抱いている彼ら・彼女らとも、談論風発の楽しい時間を共有することができました。



この学部に入學していちばん良かったこと。それは、四季折々の学部行事に参加できたことです。

2年生の時には、本学恒例の観月祭で、右舞の「登殿楽」を舞わせていただきました。終演後の晴れやかな達成感は、今も忘れることができません。あの時の私は、実に数多くの方から支えていただきました。そんなことを思うと、おのづから感謝の念が込み上げてきます。

同じく2年次の成人加冠式も、私にとって大切な思い出です。私は、その年の成人女子代表に選ばれました。正服を着装し、答辞を読ませていただきました。これは誰もが経験できることではありません。

「この学部で懸命に学び、大学行事やサークル活動に勤しんだ、そのご褒美をいただいたのだ…」そんな思いが、その後の学生生活の秘めた自信に繋がりました。



4年次を迎え、予想もしなかったコロナ禍に遭いました。大学生活最後の大切な1年間、自粛とオンライン学修を余儀なくされたのです。けれども、卒業を前にした今、そうした辛い経験も含めて、やはり自分にとってかけがえのない4年間だったと実感しています。楽しかったことも、つらかったことも、そのすべてが、自分の糧となりました。必ずや将来に生きてくるものと思っています。



この学部に入って、神道人としての生き方を学び、素晴らしい仲間たちと出会うことができました。憧れの先輩、一緒に切磋琢磨してきた同級生、私についてくれた後輩たち…。こうした方々と出会い、共に歩んだことが、私の何よりの誇りです。

神道文化学部志願者の皆さん、ぜひこの「世界でただひとつの学部」で、様々な経験を積んでください。

前向きに生きること

イラストー今橋晶子





福田 弘毅さん
神道文化学部 2年



私は、高校生の時に読んだ小林秀雄の本居宣長に関する著作に深い感銘を受け、古代の日本人が有していた精神性というものを学びたいと思い、神道文化学部を志望致しました。文献から学び取れるものには限界があるということもあり、日本人の精神文化に直接に触れることが何よりも大切であるという思いから、目下神職資格の取得も目指しております。



神道文化学部では、講義以外にも様々な学びの機会に巡り合うことができます。なかでも毎年10月に行われている観月祭は、日本古来の伝統文化を肌で感じ取ることができる貴重な行事です。私は、雅楽サークル・青葉雅楽会の一員として、2年連続で横笛を担当致しました。コロナ禍により様々な学校行事が自粛となるなか、多くの方の御尽力により、オンライン配信という形で令和2年度も無事観月祭を斎行することができました。疫病の蔓延に加えて自然災害が頻発する現下の状況だからこそ、改めて神道の存在意義が問われていると感じております。そのような時に神道文化学部在籍し、光ある安らかな世を願う観月祭にご奉仕することができたことを心から嬉しく思います。コロナ禍が収束し、学友と直接会って学び合い、高め合う日常が一日も早く戻ってくることを祈念してやみません。



私は一般家庭出身ということもあり、将来の進路については決めかねております。ただ、一宗教者として自己研鑽を積み、「神道とは何か」、「宗教とは何か」という問いを常に抱きながら、現代社会における神道の意義というものを考え続けていきたいと思っております。そして、神道文化学部における様々な学びを通じて、神道に関する知識や理解を深めるとともに、大学生活を通して得られる様々な体験から、人間的にも成長し、惟神の道というものを後世に伝えていくことができるような人間になれるよう努力して参りたいと思っております。

神道から学ぶ日本人の精神

日本の伝統文化を伝えたい



折原 祥平さん
神道文化学部 2年



私は日本の伝統文化を学び、発信したいという思いから神道文化学部へ入学しました。

初めて神道文化学部を知ったのは高校2年生の時でした。歴史が好きだった私に当時の担任の先生が勧めてくださったのです。大学へ進むにあたって伝統文化に関心を抱いていた私は「この学部だったら日本の文化について学べて、将来それを伝える仕事ができるのではないか」と思い、入学を決意しました。

感染症の影響によって1年間遠隔での学びを余儀なくされましたが、過ごしてきた2年間を振り返ってみると、高校生の時に想像していた学生生活とは比べものにならないほど充実していると感じています。



神道文化学部は世界でただ一つの神道を専門とした学部ということもあり、第一線で活躍されている先生方から神道の精神などを学ぶことができます。先生方もご自身の研究をもとに講義を行なっているので最先端の学びができ、学んでいくうちに神道の世界観へと引き込まれていきました。



その他の学生生活でも様々な経験が得られました。平安朝の月見や成人の儀を模した観月祭や成人加冠式は、雅やかな楽や装束を全身で触れることのできる他にはない機会です。私は大学に入ってから雅楽を始めましたが、これらの行事に1年生の時から参加しており、観月祭では1年次、2年次ともに箏の音頭を、成人加冠式では1年次に歌方の音頭をそれぞれ任せていただきました。この音頭や音頭といった責任のある大役をやりきった時の喜びと興奮は忘れられません。雅楽を通じて出会った仲間も多く、共に「もっと上手になりたい!」という思いに駆られて練習に励んでいます。



私は一般家庭の出身ですが、卒業後は様々な可能性を視野に入れながら神道を学び続ける者として神社へ奉職するなど神道と関わっていきたくと考えています。当初の「日本の伝統を次世代に伝えたい」という思いのもと、これまで経験したこと、これから学んでいくことを大切にしながら理想とする将来像になれるように今後も勤めたいと思っております。





かけがえのない経験



鍵山 由貴さん
神道文化学部卒業生



幼い頃から神社に親しんでいました。祖父が地元で神社の宮司を務めていました。いつも母と連れ立って、お手伝いにかがっていました。やがて巫女としてもご奉仕する中で、いよいよ神社や神職への憧れが強まりました。

「神道について本格的に学ぼう、神職資格を取得しよう…」

そう思って、神道文化学部入学を決意しました。

実際に入学してみると、学部では、他大学・他学部では決してあり得ないような授業や実習が、豊富に用意されていました。



3年次、福岡県の宮地嶽神社において一週間の実習をさせていただきました。朝のお掃除やお日供から、一年に一度の例祭の諸準備に至るまで、神社における様々な社務を、身をもって学ばせていただきました。

4年次は伊勢の神宮で実習させていただきました。五十鈴川での禊や、早朝参拝・夜間参拝は実に感動的な経験でした。神代以来の聖地の神々しさ、清々しさが、今も深く心に刻まれています。



この学部には、社家の子女が、全国各地から集まってきます。何気ない会話の中で、色々な方言、文化の違いなど、各地の地域性を折節に感じ取ることができます。こうした経験も、この学部の醍醐味ではないでしょうか。クラスメイトの進路も、全国津々浦々の神社に及びます。旅行に際しての「再会の楽しみ」も、またひとしおです。



目下私は、神職を目指すきっかけとなった地元のお宮で、権禰宜として奉仕しています。現代社会では、インターネット検索やSNSが情報伝達の主流です。私も広報活動の手立てとして、ホームページやインスタグラムでの発信に努めています。地域の方々のみならず、数多くの人々に、神社の姿、神道のこころを、広く知ってもらいたいと思っています。

時代に沿った変化を柔軟に交えながらも、古来から伝承されてきた文化をしっかりと守り伝え、地域に貢献していきたいものと願っています。

令和4年度 総合型選抜、専攻科、別科入試日程

入試制度	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間(消印有効)
神道・宗教特別選考(Ⅰ期) 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	9/22(水)～9/29(水)	1次：書類選考 2次：10/24(日)	1次：10/13(水) 2次：11/2(火)	11/2(火)～11/10(水)
神職養成機関(普通課程)特別選考	9/22(水)～9/29(水)	10/24(日)	11/2(火)	11/2(火)～11/10(水)
公募型自己推薦(AO型) 「神道文化学部でぜひとも神道文化・宗教文化を学びたい」という強い意欲を抱く志願者を選抜します。	10/4(月)～10/8(金)	1次：書類選考 2次：11/14(日)	1次：10/27(水) 2次：11/24(水)	11/24(水)～12/1(水)
神道学専攻科 4年制大学を卒業した神職子女が、1年間で神職資格(明階検定合格、正階授与)取得を目指す課程です。	11/1(月)～11/5(金)	11/28(日)	12/8(水)	12/8(水)～12/15(水)
神道・宗教特別選考(Ⅱ期)【夜間主】 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	2/8(火)～2/15(火)	1次：書類選考 2次：3/2(水)	1次：2/24(木) 2次：3/11(金)	3/11(金)～3/18(金)
別科神道専修Ⅰ類・Ⅱ類 高等学校の卒業生が、神職資格を目指す課程です。	2/8(火)～2/15(火)	3/2(水)	3/11(金)	3/11(金)～3/18(金)

※出願資格や「入学試験要項」など詳しい入試の情報については、國學院大学ホームページをご覧ください。本学入学課(電話03-5466-0141)へお問い合わせください。志願される方はお早めに「入学試験要項」をご入手ください。

神道・宗教特別選考を志望する方々へ

本学では、(1)神社本庁所属神社の神職、またその家計の子女で、継承者となる方々もしくは、(2)神道系教団所属者の子女で、将来、後継者となる方々を対象にして、「神道・宗教特別選考」という入試制度を設けています。詳細は國學院大学のホームページをご覧ください。

オープンキャンパス(渋谷キャンパス) 8月21日(土)／22日(日)／9月12日(日)

※学年は取材時のものです。